



かなざきひさを応援する会・会報 37号 事務局 上山口 1878-9  
Tel&Fax 878-7961 携帯 090-4076-2425 E-Mail kanazakihi@jcom.home.ne.jp

## 葉山町議会第2回定例会が開催されました。 期日 平成21年6月17日～29日

### ○かなざきひさの一般質問

#### (1) 障害者施策について

今年度予算では、心身障害者手当支給事業において、重度障害者の20歳以上の人を切り捨て、1,075万円の減額をしました。私は物言わぬ弱者の切り捨てに異議を唱えましたが、残念ながら議会では過半数の賛同を得ることができませんでした。その減額分を障害者施策に今後どのように活かすのか質問をいたしました。

質問と提案	理事者側の答弁
障害者の地域作業所「葉山はばたき」は公設民営であるが、築20年以上を経過し、雨漏りなどの支障が見受けられる。その補修などの対応は。	町所有の建物であるので、町が補修をする。 (保健福祉部長)
葉山町障害者福祉計画によると、グループホーム等の入居者人数を23年度までに25人と見込んでいるが、その方策は。	町がつくるか民間にお願いするか、もう少し時間をかけて検討したい。 (保健福祉部長)
知的障害者のグループホーム入居者に対し、今年度から家賃補助をしているが、将来的見地から、借家での運営ではなく、町有地を提供し法人等所有の建物での運営とすることが、親の不安を解消することになると思うが。	家族の不安を解消することは行政にとって大変重要なことである。検討は必要と担当課と話している。 (町長)
適切な町有地の活用のためにも、130カ所ある町有地を地図におとす必要がある。	努力していきたい。 (総務部長)
<p>かなざきひさの考え 障害を持つ子を残して死んでいくことになるという親の不安は計り知れないものです。そのような不安を解消することが、安心して住み続けることができる町づくりにつながると思います。現在1カ所ある知的障害者のグループホームは民間の借家で社会福祉法人が運営しており、町としては家賃補助を行っております。財政難の折、税金から家賃を補助し続けるのではなく、眠っている町有地を提供することにより、関係者は将来への安心と安定を得ることができます。そのような展開に行政はすべきと主張いたしました。</p>	

#### (2) 合併処理浄化槽設置整備補助事業について

市街化調整区域で合併処理浄化槽を設置する場合、国・県・町から補助金を出すこととなっております。長期にわたり公共下水道の敷設が難しいので水環境保全のためには必要な事業ですので質問に取り上げました。

質問と提案	理事者側の答弁
合併浄化槽でも適切な維持管理さえすれば、公共下水道と同等の良い水質を排出できると思うが。	全然劣るところはないと考えている。 (町長)
しかし、現在、維持管理の義務付けはされていない。補助する以上、良い水質のものを出していただかなければならないので、その後の適切な維持管理をお願いすべきと思うが。	必要な管理の義務付けを検討したい。 (町長)
<p>かなざきひさの考え 町は町民に対し、合併浄化槽のみならず、電動生ごみ処理機などの購入費用の補助を行っています。しかし、補助するのみで、その後の効果など全く調査をしていないのは問題であると思っています。税金を使っての補助ですので、その効果が適切に発揮されているかどうかの報告義務は必要なことと思います。</p>	

### (3) 財政難における職員の意識改革について

湯河原町真鶴町衛生組合に視察に行き「自分たちでできることは自分たちでやる」という職員意識を強く感じました。葉山町においてもできることがあるのではないかと思います。質問に取り上げました。

質問と提案	理事者側の答弁
ミックスペーパー収集について、251 トンで 730 万円の委託費を使っている。町職員での収集はできないのか。	競争入札により委託費の軽減には努力しているが、ミックスペーパー収集委託はとりあえず現状どおりの形で行う。 (生活環境部長)
湯河原町真鶴町衛生組合は 2 万トンのごみを処理するのに 5 億円で行っており、葉山町は 1 万 1 千トンのごみ量にもかかわらず 9 億円かかっている。ゼロ・ウェイスト推進のみで解決する問題ではないように思われるが。	クリーンセンターの立地条件などの要因により、金額的にどうしても多くならざるを得ないと把握している。 (生活環境部長)
生ごみ処理に関し町民への説明会を実施しているが、まずは町関連施設から排出される生ごみ（給食残渣など）を燃すのではなく、ゼロにしてから模範を示すべきである。	おっしゃるとおりである。鋭意努力をする。 (町長)
不燃ごみの収集は湯河原町真鶴町衛生組合では 23 人の職員の手で行っているが、葉山町は 39 人の職員がいるにもかかわらず収集委託に 7,153 万円をかけている。また、袋に入れて出しているが、その袋がごみになる。箱収集にすべきだと思うが、それらの改善策は。	23 年 4 月に資源物収集の抜本的改正を行う予定である。 (生活環境部長)
一般廃棄物処理基本計画では 4 市 1 町の広域処理となっている。方針が違うので早急に改正すべきと思うが。	計画書どおりに行うわけではないので、22 年度中の改正で支障はない。 (町長)
その見直しにあたっては、財政計画を盛り込み、町民説明会およびパブリックコメントを当然すると思うが。	実施する予定である。 (生活環境部長)
つつじの時期など観光で葉山を訪れる方たちから、雑草処理がされていないとの指摘を受けた。お客様を迎えるマナーとして、きれいにしてお迎えすべきではないか。	タイミングをきちっと図って、適切な時期に行うよう指示していきたい。 (町長)
かなざきひさの考え ごみに関しては問題が山積みですので、ごみ問題特別委員会委員長として、問題解決に努力をしたいと思っております。また、葉山の活性化のためには多くの方たちに訪れていただく必要があります。従来のイベントを充実させることも必要であり、実態として、しおさい公園入園者数は葉山芸術祭の折には平素の 4.5 倍でした。葉山の一番良い姿を見ていただくために、葉山を愛する心を全職員が持って、各課横断で対処すべきと提案いたしました。	

### ○安全で快適な葉山海水浴場の確保に関する条例

総務建設常任委員会に付託され審議しました。審査の中で、町内に 4 つある海水浴場のみを対象とするのではなく、葉山全域の海岸を対象としており、表題との整合性が全くないことが判明いたしました。その他、条例としては未完成と思われる欠陥が次々と表面化し、提出者である町長に条例の取り下げを求めました。しかし、町長はそれを拒否したので、これ以上の審査は不要との意見で、全会一致で否決といたしました。その後、本会議で委員長報告を行い、全議員による採決が行われましたが、森勝美議員が退席をし、その他の議長を除く全議員が反対をし、否決されました。このようにあきらかに不備である条例を、夫である提出者を意識してか、退席したということは、公私混同という批判を浴びる行為であると思います。議員として毅然とした態度で臨むべきです。

### ○長柄小学校校舎耐震補強工事請負契約締結

馬淵建設株式会社により行われ、請負契約金額は 1 億 3870 万 5 千円です。10 月 30 日までが工事期間となっており、その間は体育館、プールの使用はできませんが、極力使用できる日を増し、授業に支障がないようにするとの答弁がありました。学校の安心・安全は最優先課題として取り組むべきと思います。

### ○葉山町議会基本条例が制定され、10 月 1 日から施行されます。